が今にも頭上に落ちて来そうに思える。やっと本堂へ着く。本堂は垂直の大岩壁に抱かれている。その岩壁には大きな穴があり、梯子もかけられていた。修行僧達の荒行の跡だとか、きびしい修行をなさったんだなあ、と思う。『大聖の祈る力のげに岩屋　石の中にも極楽ぞある。』と御詠歌にある。きびしい修行僧たちの見た極楽とはどんなものであっただろうか。岩屋寺を後にして、古岩屋荘で昼食、そして松山市内を目指し乍らお札所を巡拝し、石手寺へと向う。石手寺は道後温泉も近く、境内の人並は絶えることもない。外国の方の遍路姿も目に入る。仁王門を入ると美しい三重塔が目に入る。重要文化財とのこと。本堂大師堂を納経し、島岡さんの案内で大仙窟へと向う。本堂の左奥の方へ行く。薄暗い洞穴と云う感じで中へ入る。所どころに裸電球がついていて、ボンヤリと中が見える位だ。ようやく目も馴れて来た。人が往き来するだけの狭い通路、中央には小さなお地蔵様が行儀よく並んでお詣りする人達を迎えている。どの位進んだろうか、行手に明るい出口が見える。外へ出て見ると何と、右手に西安大師像の大きなお姿が目に飛び込む。遠くから見えていたのはこゝに建立されていたのかと、一人でに有難いと云う気持ちになる。再び今来た洞窟を引き返す。途中から洞窟八十八ヶ所をおまいりする。お大師様の修行場の跡もある。洞窟を出るとそこは大師堂の横だった。今日の予定を無事に終え今夜の宿泊所『ホテル八千代』へと向う。大きく立派なホテルだった。温泉に入り一日の疲れを癒す。翌朝七時半出発。皆さんお土産を沢山買われてバスに乗る。今日もお天気は素晴らしい。順調に巡拝し、仙遊寺へ。ご本尊の千手観世音は龍女が刻んだともいわれている。こゝには『姫だるま』のキーホルダーが売られている。八十八ヶ所で、こゝにしかないとても可愛い『姫だるま』だ。

境内より今治市街や瀬戸内に浮かぶ美しい島々が見える。四国会館で昼食、国分寺へと向う。野面を渡る風は秋を感じ、頬に心地よくお札所巡拝は順調だ。日も短くなり、影も長くなって、横峰寺山麓の京屋旅館に着く。大分山を登って来たので寒さを感じる。白乳色の温泉につかり乍ら、明朝参拝の横峰寺のことを思う。『前回はマイクロバスを下りて三十分も歩いたけど。』三日目も快晴。マイクロバスに分乗して横峰寺へと向う。道も随分整備されお寺近くまで行ける様になっている。山上に駐車場が出来ている。そこからお寺へと下りて行く。大木に囲まれた参道はなかなか陽もあたらず、海抜五百米近い高所にあるお寺だけに荘厳なたゝずまいを見せている。三角寺、そして雲辺寺へとバスは進む。ロープウェイで一気に山上へ到着する。山上には、徳島と香川の県境が標されてあり、雲辺寺は徳島県側であった。四国の高野といわれた雲辺寺を後に残り少なくなったお寺を巡拝する。本山寺から最後の弥谷寺へ。駐車場もすっきりと整備されていた。弥谷寺の御詠歌に、『悪人と行き連れなんも弥谷寺　たゞかりそめも善き友ぞよき』とある様に、大勢の方々とご一緒に巡拝出来たことはとても嬉しいことだった。一病を持つ身にとって全日程を無事に終えることが出来たのもきっとお大師様のお蔭だったと思っている。きつい坂道、長い階段、一歩一歩踏みしめて登り、おまいりした様に、家に帰っても充分に健康に留意して又、来年の巡拝に参加したいと願っている。

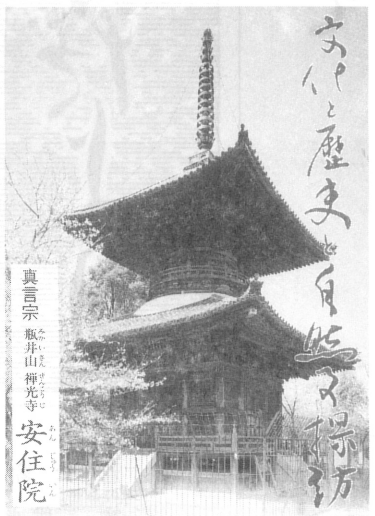
最後になりましたが、お世話下さいました、朝日寺ご住職をはじめ、総代の島岡さん、そしてバスの運転手さん、ガイドさん達に厚くお礼を申し上げてペンを置きます。

合掌

五十九番国分寺にて

岡山市内寺院一日参り

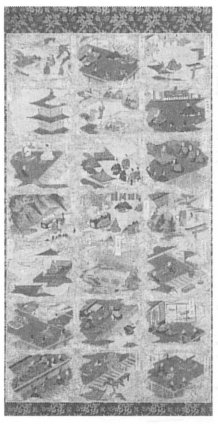
岡山県を昔流に分配すれば、備前・備中・美作の三地域に分かれますが、その備前の中で高野山真言宗の寺院が八十余有ります。しかし、特別に興味を持たれている人以外、大半の寺は知られないのではないでしょうか。今回は池田家の菩堤寺、曹源寺を始まりとして、いずれも真言宗の寺院である山本院・長楽寺・恩徳寺・安住院・上生院を回ってきました。曹源寺は藩主の寺だけあって、壮大な境内と重厚な建物が並んでいました。外国人の修行僧が多くおり時代を感じましたが、維持するのが大変だなあと思いました。却って、まわりの真言宗寺院の方が修繕が進み勢いを感じました。寺といえども長い年月の中で、栄枯盛衰は避けえない事の様です。途中、半田山植物園に寄り、きれいに咲いた花々を見て楽しむと共に、山の上から岡山市内を一望しました。

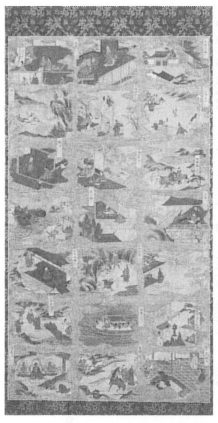


安住院　多宝塔

朝日寺の宝物

【弘法大師一代記】

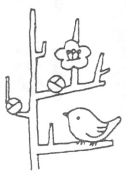




江戸時代、尻海が交易港として栄え、回船問屋等が軒を並べていたのでしょうか。これらの人々が各地で求めたものを、檀那寺である朝日寺へ納めたと想像され、当時の一級品が現存しています。写真は弘法大師一代記ですが、今から二百五十年程前に描かれたものです。長い年月を経て傷みが進み、現在約六百万円をかけて修理をしております。修復後は岡山県立博物館に寄託する予定です。

一月十五日　十時より
おすなふみ並びに大護摩祈願
（本尊特別開帳）

本堂修理のため中断しておりました、おすなふみと大護摩祈願を一月十五日午前十時より行います。本堂修復記念として今まで三十三年に一度しか開かなかった、本尊薬師如来の扉を特別に開きます。新年の願いを、お薬師さまに直接お託し下さい。又当日は福引や薬師せんべい等の、おせったいもあります。



朝日寺墓苑

菩堤寺をまじかに望む高台に造成された墓苑も、すでに半分以上が売り切れました。申し込み順に望まれる区画を、お分けしています。いい場所をと言う方は早くお申し込み下さい。

一区画は3m×2.5m（七・五平米）

金額は一区画六十万円です。

尚、祭り手のない方の為に永代供養塔を建立しております。

役員名簿

総代会
（◎総代長、○副総代長）

敷井　川野健郎　川野　重
大東　松井金次郎　心光正美
中東　川野澄男　坂口鶴一
市場　◎島岡　篤　藤本太郎
西部　谷　利夫　松井立男
大土井　森景智司　中島達男
庄田　○三浦藤作　木村　功
渡内　千種司郎
高助　市守用二
下寺　久本　巽　内田栄一
問口　山田克己
前泊　内田勲一郎
虫明　山根俊雄
尾張　種草立司　松下　隆

密教婦人会
（◎会長、○副会長、△会計）

敷井　川野智子　馬場美知子
大東　山下イセ子　俵　ちえ
中東　三浦和子　川野富子
市場　△谷　峰子　大和理恵
西部　田中富子　板野よね子
大土井　○田中清子　田中弥生
庄田　◎胤草小夜子　松本治子
渡内　千種美津恵
高助　藤中ひさみ　山本佐恵子
下寺　○久本千和　内田美佐恵
問口　武内笑子
前泊　内田律子
尾張　今吉君子　吉田房子